

第36回 日本緑内障学会

ランチオンセミナー7 (LS7)

世界初!

532nmレーザーと眼内内視鏡を組み合わせた
ECP用内視鏡の使用経験



座長のことば

毛様体光凝固は、海外で810nmのレーザー光を使った製品が販売されていますが、532nmのレーザー光採用のレーザー内視鏡(MT Laser Fiber Catheter)が開発されました。このMT Laser Fiber Catheterは、毛様体表面の光凝固を532nmのレーザーを使うことにより低侵襲である事に加え、レーザーと眼内内視鏡が一体型であることから、一手法によるECP手術が可能です。また、昨年6月に保険適応にもなり、既存の硝子体手術装置に内蔵されているレーザー装置との接続も可能なMT Laser Fiber Catheterも順次リリースされていることから導入を検討されておられる施設が増えてきています。本セミナーでは、MT Laser Fiber Catheterを使用されている3名の先生方に、その使用経験をお話しいただきます。

座長

ナカムラ マコト
中村 誠 先生

神戸大学大学院 医学研究科 外科系講座眼科学分野
教授



演者1

日帰りECPを地域クリニックで実現する
～導入と運用の実際～

イダ ヤスツグ
井田 泰嗣 先生

辻堂神台眼科
院長



演者2

起死回生のECPなるか?
～ECPと私の静かな闘い～

タカタ マサシ
田片 将士 先生

兵庫医科大学眼科学講座
講師



演者3

ECP、始めました。
～導入初期のリアル～

ミウラ ユウスク
三浦 悠作 先生

高知大学医学部眼科学講座
学内講師

日時 2025年 9月13日(土)
12:30～13:30

場所 神戸ポートピアホテル
南館B1F トパーズ 第3会場

共催: 第36回 日本緑内障学会/ファイバーテック株式会社